

WING NEWS



Honda **FLYING CLUB**
Honda **FLYING SCHOOL**

217

2010
MAR.



コングラッチュレーションズ

教官から
ひとこと

●ファーストソロ



No.5804 宮嶋 洋一様
平成21年10月10日 JA3936

こつこつ一所懸命訓練されている姿に頭
が下がります。

接地の姿勢が非常に美しかったのが印象
に残っています。

隣にうるさい私がないほうが上手くて
きました。

これから航法、BIF と進んでいきます
がなお精進されることを望みます。

石戸教官



No.5801 田村 清明様
平成21年10月30日 JA3935

場周経路の飛行はピタリと決まっていま
す。

最後の接地までの数メートル。

ずいぶん悩みました。お疲れ様でした。

AW全般に良好ですので今後は着陸の精
度を上げていきましょう。

石戸教官

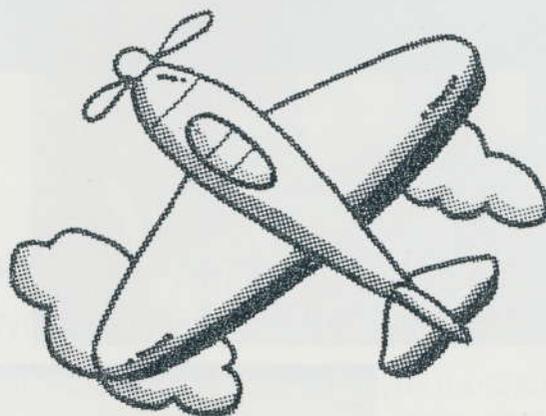


乗員養成課程訓練生のご紹介もさせていただきます。

●実地試験合格

事業用	航空学園	竹岡 氏	10月21日
	航空学園	山本 氏	10月22日
	航空学園	森重 氏	11月30日
	HA乗員養成	川野邊 氏	12月 7日
	航空学園	平林 氏	12月 7日
	HA乗員養成	濱 氏	1月27日

計 器	HA乗員養成	豊原 氏	12月 8日
	HA乗員養成	加藤 氏	1月29日



新入会員紹介

No2101 小須田真一郎 様 2009.09.07入会

No2102 川 口 修 様 2009.11.03入会

第37回本田宗一郎杯争奪飛行競技会レポート



記 河合 秀晃

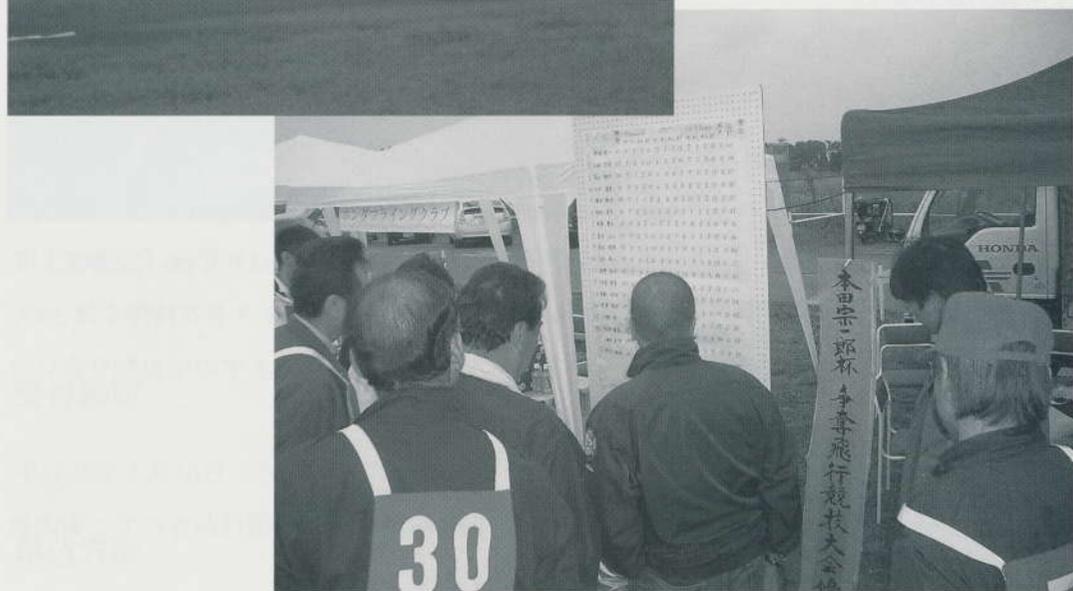
写真 柴田 英明

10月25日、前日の予報からすると考えたより天気は良いものの、関東地方は所々で-RA。決してBest Conditionとはいえない中、第37回本田宗一郎杯争奪飛行競技会が開催されました。

今回は、昨年に引き続き参加してくださったIBEXフライングクラブの皆様のほか、日本女性航空協会のメンバーもお迎えし、総勢22名で競技が行われました。



午前中は視程も悪く、ホンダエアポートがホームグラウンドではない方はさぞや苦勞されると思いきや、素晴らしい健闘です。結局終わってみれば1位：黒沢さん（HFC）、2位：阿波さん（HFC）、3位：桑野さん（IBEX）という結果。いやはや、HFCは何とか今年も看板を守ることができました。入賞された皆様、おめでとうございます。



クラブ大会は日頃の訓練の成果を發揮する他、会員相互の交流が何よりの楽しみです。今回は濱尾会長の零戦地上走行、ミニBBQ、ミニミニジュニアウィングス、防災航空隊の展示飛行と盛りだくさんの楽しみもありました。

今後もこの伝統ある競技会を飛行技量の向上と会員相互の交流のため益々發展させていきたいと思ひます。今回参加されたクラブ員の方々、本当にお疲れ様でした。また、馳せ参じてくださったIBEXフライングクラブ、日本女性航空協会、日本飛行連盟の方々、裏方として大会をささえてくださった教官はじめ本田航空の皆様方、それからお手伝いいただいたの方々、本当にありがとうございました。

ホンダフライングクラブ総会・安全講習会開催のご連絡

ホンダフライングクラブ事務局 鳥居 互

本年もクラブ総会と安全講習会を4月25日（日）に開催いたします。

総会では、皆様に平成21年度の事業と決算の報告、平成22年度活動計画と予算案等をご審議いただきます。

皆様のご意見をいただきながら活動をしていきたいと考えておりますので、ぜひ多数のクラブ員のご参加をお願い致します。



総会の後は、航空局通達に基づき2年に1回の受講を求められている、航空安全講習会を開催致します。航空安全講習会に参加された方には終了後『受講証』を発行し、ログブックへの受講証明印の押印もいたしますのでログブックもご持参ください。また、航空安全講習会は、クラブ員以外の方も参加することができますのでお知り合いの方にもご案内下さい。

総会・航空安全講習会の出欠につきましては、別途事務局より往復はがきにてご案内致しますが、ぜひ大勢のクラブ員の皆様のご参加をお願いします。

平成22年度ホンダフライングクラブ総会・航空安全講習会

日 時 : 平成22年4月25日（日）
時 間 : 12:00～13:00・・・ホンダフライングクラブ総会
13:30～17:20・・・日本航空機操縦士協会主催
航空安全講習会
場 所 : 交通教育センターレインボー埼玉2階会議室
埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1
講習会費用: ホンダフライングクラブ員 無料

ホンダフライングクラブ表彰の応募を受付ます。

今年も3月31日の時点で、下記の飛行時間または飛行経験年数を越えたクラブ員の方を、ホンダフライングクラブが表彰させていただきます。

表彰対象

【飛行時間】

最初に300時間、其の後100時間毎、また過去1年間に本田航空の航空機で6時間以上飛行したクラブ員であること。オーナーパイロットはクラブ員であり、ホンダエアポートを利用して6時間以上飛行した方を対象とします。これはクラブ入会前の飛行時間も認められます。

【飛行経験年数】

最初に10年目、その後5年毎。飛行時間は関係なく、ホンダフライングクラブ入会後の年数となります。

認定の方法

自己申告となります。他のクラブ員からの推薦も受付ます。

ホンダフライングクラブ理事会で承認します。

受付締切

平成22年4月15日（水）

申込方法

申込用紙は、「本田航空のホームページ」→ページ左の「お客様へ」→「ホンダフライングクラブ」→「ウイングマーク」をクリック→別ウインドで立ち上がる「クラブ員の皆様へのご連絡」からダウンロード可能です。

ダウンロードした申込用紙に必要事項をご記入の上申込用紙記載の証明書類を添付してクラブ事務局鳥居までご郵送下さい。メールでのお申込みも受付ます。



郵送 〒350-0141 埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

ホンダフライングクラブ事務局 鳥居宛

メール club@honda-air.com

CESSNA 172S 4機就航に伴い 安全運航祈願祭が開催されました

寄稿 高村正治

本田航空の主力機であるセスナ式172P型を最新式（グラスコックピット仕様）のセスナ式172S型に切り替えて行くことは、当誌昨年5月号で紹介させて頂きました。（現在の172P 6機体制を、今年3月には172S 4機と172P 2機の6機体制、そして2011年4月には172S 4機と172P 1機の5機体制へと行く計画です）

機体更新計画に基づき、セスナ式172S型を2008年（平成20年）10月に4機発注しました。待つこと1年と3ヶ月、2009年（平成21年）12月に2機、その1ヶ月後の今年1月に残りの2機が無事桶川に到着しました。

分解され40フィートコンテナに収納された機体を注意深く降ろし、取り外されている各パーツをメンテナンスマニュアルに従い再組立します。当社の整備士達は1年前にも同機



荷降ろし…慎重に…慎重に…

種4機を受入、組み立てていたので手馴れ



組み立て開始！

たものです。

組み立てて耐空証明検査を通した後、Honda Airways Designに塗装をして完成です。



Honda Airways New Design CESSNA 172S

大安吉日の2月7日には関係者の方々をお招きして、これらの機体が何時までも安全に、皆様に愛され飛び続けるようにとの願いを込めて、『安全運航祈願祭』及び『セスナ172S就航記念懇親会』を開催いたしました。

天気は快晴ながらも、風が神前に祭られた4機のセスナ172Sを揺動させ、弊社社長柳本が修祓式後の挨拶の中で「機体は今や飛びたしと身震いをしている」と形容するほどに強く吹いていた為に、体験飛行は中止となってしまいましたが、その他は無事に予定の内容を終えることが出来ました。

(体験飛行中止の決定は、安全の為に計画を中断し、引く勇気を持つことが大事であると実感した時でした。)

参列は、川島町 町長 高田康男様を始め、各お取引法人様、機体輸入商社様等と本田航空関係者でした。Honda FLYING CLUB様からは、杉田名誉会長、濱尾会長にご列席

頂くと共に、玉串奉奠をして頂きました。



修 祓 式



格納庫前に整列する C172S



お祓いを受ける CESSNA 172S 4機

安全運航祈願祭後にセスナ172S就航記念懇親会を行い、乾杯の音頭を杉田名誉会長にお願いしました。そのご挨拶の中でHonda FLYING CLUB初代会長 本田宗一郎氏へ自己紹介をする際に「私は、飛行機は落とさないが、手形は落とす」と話し、意気投合したとの逸話をお聞きし、懇親会参加者から湧き上がった笑い声とともに、名誉会長の「乾杯」のご発声で和やかな雰囲気の中盛大に始まりました。



杉田名誉会長による乾杯のご発声

日頃顔を合わすことの無い方達も、神酒と料理の力か？会話も弾んでいました。



歓談中の皆様



本田技研工業(株)総務部 部長 永田様

大変盛り上がり、惜しむ声上がる中全員による万歳三唱をもって、懇親会は終了となりました。



万歳三唱で閉会

安全とは、許容できる危険である。

本田航空は、この言葉を肝に銘じ、安全を維持する為の基準を遵守しコンプライアンスを守り、航空機の安全運航を行なうとともに更なるお客様の満足度向上の為に、創造的な業務推進を心がけてまいります。

皆様のますますのお力添えをこれからもよろしくお願い申し上げます。

C172S移行訓練のご案内

移行訓練対象者

ホンダフライングクラブに所属のライセンスをお持ちで既にPICでの貸し出し訓練が終了している方は座学訓練及び実機訓練を受けて頂きます。(有効な航空身体検査証が必要です)。

現在、スクール生で訓練中の方は、座学訓練を受けて頂きます。実機訓練はスクール訓練中に行います。(スクール生で座学訓練が終了していない方は172Sでの訓練が出来ませんのでご了承下さい。)

費用

¥ 24,000 (税込、座学訓練費) 5 + 00

¥ 76,000 (税込、実機訓練費) 0 + 45 × 2回

(2回の訓練で基準に満たない方は追加訓練が必要な場合がありますのでご了承ください)
※昼食は各自でご用意ください。

※クラブより補助金が出ます。(詳細はお問合せ下さい。)

日時

第1回目 日時 平成22年4月10日、11日

第2回目 日時 平成22年5月8日、9日

1回の講習は最大6名までと致します。定員を超える場合又はスクール生で座学訓練のみの希望者が多い場合は別途調整させて頂きます。

訓練スケジュール

1日目 座学訓練：PCトレーナー又は実機を使用

AM 座学訓練 2 + 00

PM 座学訓練 3 + 00

2日目 実機訓練：172Sを使用

AM 飛行訓練 1回目 0 + 45

PM 飛行訓練 2回目 0 + 45

1日目、2日目を連続して訓練を受けて頂きます。座学訓練が終了していない方は実機訓練に入れませんのでご了承ください。(スクールの訓練も同様です。)

天候により飛行訓練が出来ない場合は別途日程調整となります。

訓練にお持ち頂く物

飛行に必要な物(ライセンス、身体検査証明、チャート類、等)及び筆記用具

訓練当日お渡しする物

172Sチェックリスト(別途費用)

お問合せ、申込

飛行機訓練課 鈴木まで suzuki@hondaair.com FAX 049-299-1118

お問合せ、申込はメール又はFAXとさせて頂きます。

(電話でのお問い合わせにはご返答致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。)

栃木県ドクターヘリ運航開始



本田航空スタッフ

本田航空は2010年1月20日より栃木県ドクターヘリコプター（略称：ドクターヘリ）の運航を開始しました。昨年6月23日に基地病院と受託契約を締結して以降、機材の準備や栃木県内消防本部との連携訓練などを進めこの日を迎えました。ドクターヘリとは、救急医療用機器等を装備して救急医及び看護師が同乗し、救急現場で必要な初期治療を行いつつ医療機関に搬送を行うことを目的としたもので、国と県の補助金により基地病院と運航会社が協力して運航を行います。

今回栃木県は基地病院を獨協医科大学病院とし、ホンダより機材を提供された本田航空が受託運航いたします。要員は医師、看護師のほか操縦士、整備士および運航管理を行うCS（コミュニケーション・スペシャリスト）の5名で、毎日08：30から日没30分前までの運航を365日行います。



獨協医科大学病院のドクター、ナースさんとともに（可動式ヘリパッド上で）



ドクターヘリ要請第1号（大田原市、1月21日）



運航開始から1ヶ月で16回の出動を記録しました。

現在ドクターヘリの導入をしている他県の実績では、救命率と社会復帰率の向上がはっきりと出ています。ホンダの社会貢献の一環として企業の社会的責任を果たすべく、お世話になっている栃木県民の皆様の期待に応えるよう、安全運航に勤めてまいります。

栃木県ドクヘリスタッフ一同（2010年2月28日）

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

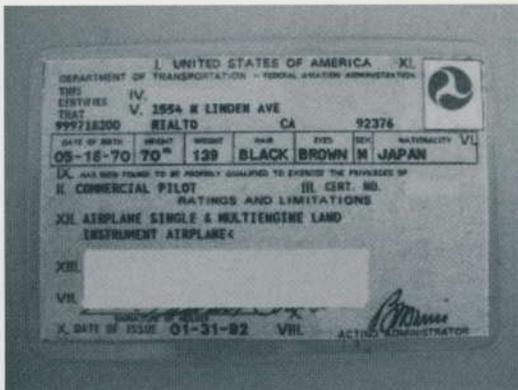
22年4月末までに切れる方	22年5月末までに切れる方
5801 田村 清明 4月21日	4001 赤間 秀弘 5月11日
5591 神谷 朗 4月27日	5737 神山 昭彦 5月18日
5708 紺野喜一郎 4月22日	
5766 若林 勝弘 4月21日	

（F）（A）（A）（免）（許）（の）（変）（更）（に）（ご）（注）（意）（を）（！）

3月30日をもって、FAA発行の旧式（紙の免許）免許が使えなくなり、現在のプラスチックの免許に変更する必要があります。



現行免許（プラスチック）



旧免許（紙）

FAAのHPから変更が可能です。

http://www.faa.gov/licenses_certificates/airmen_certification/certificate_replacement/
 変更には2ドル必要ですが、オンラインによるカード決済が可能です。3月30日以降はHPからの変更は出来なくなり、現地アメリカのFAA事務所のみになります。

HPからの変更が出来るのは、アメリカで試験を受けた場合のみです。

例えば、日本の免許をアメリカの免許に書き替えした場合は、オンラインでの変更は出来ません。（事務所でのみ変更が可）

尚、変更の際にパスポートの番号、アメリカの車の免許番号、ソーシャルセキュリティ番号のいずれかが必要になります。

変更の際し、アカウントの作成が必要ですので、メールアドレスが必要になります。

クラブ員の皆様へ



○クラブ総会は皆様のご意見を反映することの出来る場です。ぜひ大勢のクラブ員の参加をお願い致します。

○相変わらず騒音苦情が頻発しています。フライトの前には騒音苦情地域等を運航管理で必ず確認して下さい。

○いよいよセスナ172S型の訓練が始まります。10ページの案内のとおりです。クラブから補助金も出ますのでお早めにお申し込みください。

ウィングニュース 217号

発行者/ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

Tel 049-299-1111(代表)

夢は空でカタチになる。

さあ、空へ——。
雲に近づき、風を感じる。
コクピットの向こうに広がる無限の世界。
そこには夢を実現させるチカラが存在する。
あなたの夢は何ですか。
今まで抱いてきた熱い思いを、聞かせてください。
ハート、セーフティ、スピード、快適さ、そして技術。
私たち本田航空が一翼となりあなたを強力にバックアップします。



ホンダエアポートは…

- 都心より約40km
- 訓練空域内にある夜間照明施設付きの自社飛行場
- 豊富な訓練機 (C172、BE58)
- 充実した地上施設 (アドバイザリー局、衛星通信による気象及び航空情報、運航管理システム) FTD (飛行訓練装置※ログオンできます)
- 十分なスペースのブリーフィングルームとクラブルーム
- 経験豊富な教官が親切に対応します

* 自家用、事業用操縦士・計器飛行証明を取得してみませんか?
訓練開始時期、訓練期間、お気軽にお問い合わせください。
詳細は下記ホームページに記載されていますので、ぜひご覧下さい。

本田航空 〒350-0141 埼玉県比企郡川島町出丸下郷53-1
HP <http://www.honda-air.com/index-b.html>

ウイングニュース 217号 10 ページについては、誤植がありましたので、
正誤表を添付させていただきます。
また、紙面の都合上掲載できなかった補足資料もご覧下さい。

【ウイングニュース 10 ページ正誤表】

10 ページ	誤	正
本文（補助金）	詳細はお問合せ下さい。	ひとり 1 回のみ、5,000 円を補助します。
本文下から 3 行目 メールアドレス	suzuki@hondaair.com	suzuki@honda-air.com

【補足資料】

補足資料は Q&A 方式にしました。ご参考にして下さい。

Q：申し込み期限はいつまでですか？

A：4 月分は 3 月 31 日、5 月分は 4 月 15 日までとさせていただきます。

Q：4 月、5 月の訓練には都合がつかず行けませんが、次の訓練予定はいつ
でしょうか？

A：6 月、7 月にも訓練を企画致します。（但し参加希望者により変更する
場合もあります。）日程は前月初旬にホームページでご案内致します。

Q：今度の訓練でチェックアウトできれば、夜間もチェックアウトしたこ
とになりますか？

A：チェックアウトした事にはなりません。

Q：現在、P 型で松本空港まで行けますが、今度の訓練でチェックアウト
できれば S 型で現在の貸し出し基準は保持できるのでしょうか？

A：昼間の貸し出し基準は有効とします。よってあらためて 172S で他空
港のチェックアウトは必要ありません。

Q: G1000のマニュアルはありますか?あれば購入可能でしょうか?

A: 販売できる物はありませんが、ガーミン社のホームページで最新のマニュアルを確認する事が出来ますのでそちらを参考にして下さい。

<http://www8.garmin.com/support/userManual.jsp?market=1&subcategory=59&product=010-G1000-C3>

Q: セスナ172S型の飛行規程は販売していますか?

A: ご希望の方には販売致します。購入希望の方は講習申し込み時にお申し出下さい。値段は調整中です。

Q: クラブの補助金はどう支払われるのでしょうか?

A: ひとり1回のみとなりますが、5,000円を現金で受講の際お渡しします。訓練費との相殺ではありません。(事務局よりお渡しします)

Q: 申込はどうすればいいのですか?

A: 会員番号・氏名・連絡先・希望受講日をメール又はFAXにて飛行機訓練課の鈴木までご連絡をお願いします。(勝手ながら電話でのお申込は承れませんのでご了承下さい。)

Q: 訓練費の支払いはどの様にすればいいですか?

A: 訓練初日に現金又はカードにて受付でお支払いください。

Q: 今回の移行訓練以外に講習を受けたい場合どのようになりますか?

A: 今回本田航空で企画した講習以外に移行訓練を申し込む場合、通常の座学費用が掛かりまのでご了承下さい。(本田航空で企画した講習に人数の関係で入りきらなかった場合は除きます)

座学 1時間単価 ¥7,000円/時間 (5時間必要)

飛行 1時間単価 ¥53,235円/時間 (1時間30分必要)